

令和7年度(令和6年度分) 定期監査結果報告書 (工事監査)



(総合センター空冷ヒートポンプチラー及び付帯設備更新工事監査)



(総合保健福祉センター地下駐車場泡消火設備改修工事監査)



(和田四丁目地内配水管更新工事監査)



(庁舎給水設備等機械設備改修工事監査)

令和 7 年 9 月 12 日

篠栗町監査委員

目 次

監査の概要	1
監査の結果	2
第1 全般	2
第2 意見	3
〔共通事項〕	3
〔各課〕	4
1. 財 産 活 用 課	4
2. 健 康 課	5
3. 産 業 観 光 課	6
4. 都 市 整 備 課	7
5. 上 下 水 道 課	9
6. 学 校 教 育 課	10
7. こ ど も 育 成 課	12
8. 社 会 教 育 課	13

監査の概要

1 監査等の目的

篠栗町監査基準の規定により、事務の執行及び経営に係る事業の管理が法令に適合し、正確で、最少の経費で最大の効果を挙げるようにし、その組織及び運営の合理化に努めているか監査することを目的とする。

2 監査等の種類

定期工事監査（財務監査、行政監査）

地方自治法第199条第1項、第2項及び第4項に基づく監査

3 監査等の対象

（1）担当課が令和6年度に執行した工事全般から抽出した11件

（2）監査対象の課

財産活用課 健康課 産業観光課 都市整備課 上下水道課

学校教育課 こども育成課 社会教育課

4 監査等の着眼点

（1）対象工事の有効性

（2）対象工事の各計画、設計、施工等の各段階における合法性・効率性・適正性から見た執行状況

5 監査等の実施内容

各担当課に300万円以上の工事の箇所別調書を提出させた。内訳は、総務課1件、財産活用課3件、まちづくり課1件、健康課2件、産業観光課5件、都市整備課18件、上下水道課10件、学校教育課6件、こども育成課1件、社会教育課3件で合計50件である。

このうち、工事額・変更額・請負業者・工事内容などを考慮して、11件（財産活用課1件、健康課1件、産業観光課1件、都市整備課2件、上下水道課1件、学校教育課2件、こども育成課1件、社会教育課2件）を抽出して工事関連資料の提出を求め、この資料の精査及び現地調査を実施した。

6 監査等の実施期間

令和7年4月14日 ～ 6月26日

（現地調査は5月29日）

7 監査等の結果

2ページ以降に掲載

監査の結果

第1 全般

（総合所見）

（1）計画

全般的に、有効性が認められる適正な計画に基づいて、工事が行われている。

（2）設計変更等

50件のうち、27件が増額変更（変更契約率54%）となっており、設計後に予期しなかった事象が発生することもありうる。そのため、必要な変更は避けられないが、設計時に現場確認を徹底していれば、変更を回避できたケースもあると考えられる。（変更率 令和3年41.2%、令和4年56.8%、令和5年72.7%）

増額変更は、新たな予算の確保が必要となり、財政を圧迫する要因となる。変更を最小限に抑えるためには、今後も入念な事前調査と厳格な設計が求められる。

施工中には、気象状況や地下の土壌や岩盤の出現など、予期せぬ事態が発生する可能性もありうるので、必要な契約変更は適切かつ適時に行うよう努められたい。

第2 意見

〔共通事項〕

1 工事の業務支援、実施体制の見直し（財政課、財産活用課）

工事入札による請負契約の相手を決定する際には、財政課が入札、契約、検査を担当し、入札案件の設計委託や施設整備に関する設計支援は、財産活用課が行っている。

一方、入札を行わない場合は、発注課が設計や工事の執行及び監理を担当している。

しかし、発注課では事務系職員が担当することが多く、建設技術や契約事務に関する知識が十分でないケースが見受けられる。そのため、設計や施工の監理が十分に行われていない可能性がある。この状況を改善するため、令和4年度に新たに財産活用課が設置され、専門職2名でスタートし、設計支援4年目に入って専門職1名で積極的な支援を行っている。

現在の課題を明確に洗い出し、より効果的な支援体制を構築する必要がある。具体的には、設計プロセスの改善や情報共有の強化などの施策を検討されたい。

また、各種補助金を積極的に活用し、最適な施設管理のあり方を見つけることが求められる。補助金の申請方法や条件を把握し、適切なタイミングで申請手続きを行うことが重要となる。こうした取り組みによって、より効率的で持続可能な施設管理が実現されることを期待する。

〔各課〕

1 財産活用課

（１）庁舎給水設備等機械設備改修工事

【工事の経緯】

当該工事は、篠栗庁舎耐震化工事の一環として受水槽を屋上から１階に設置し、ポンプによる圧送に切り替えたものである。庁舎東側の建物重量を約４０ｔから２２ｔに軽減させると共に、災害による給水停止への対応として、給水車による受水槽への給水も容易に行えるものとなっている。

また、受水槽の容量を最適化し、塩素量を適正に維持することで庁舎内に安全な水道水を供給することが可能となった。

工 事 名	庁舎給水設備等機械設備改修工事
請 負 業 者	株式会社 協和設備工業
発 注 方 式	４者指名競争入札
【最終】契約金額（税込）	３１，４７１，０００円
【当初】契約金額（税込）	３２，４７２，０００円
落 札 率	９０．０％
概 要	受水槽設置工事

【指導事項】

特に指導する事項は、認められなかった。

【意見・成果見込み等】

庁舎耐震工事において、一部の箇所で建物重量を削減することにより耐震補強のコストが軽減されている。また、水道水の給水停止に備えた措置も行えており、本町の防災拠点としての役割も担うものとなっている。受水槽については、既存の設備が老朽化し、また屋外設置のため直射日光に晒されやすく、塩素の揮発による水道水の水質劣化が懸念されていた。今回の改修では、これまでの不安や課題にも対応がなされており、工事内容も事前に十分検討されていることから、高く評価できる。

今後は、昨年１２月に庁舎内の漏水事故が発生していることから、下水も含めた配管の保全に努められたい。



2 健康課

(1) 総合保健福祉センター地下駐車場泡消火設備改修工事

【工事の経緯】

令和3年5月24日に公布された「消防用設備等の点検の基準及び消防用設備等点検結果報告書に添付する点検表の様式を定める件」（令和3年消防庁告示第6号）を受け、泡消火設備におけるPFOS含有消火薬剤の交換及び産業廃棄物処理、一斉開放弁の2次側仕切弁追加工事を実施した。

工 事 名	総合保健福祉センター地下駐車場泡消火設備改修工事
請 負 業 者	寿防災工業 株式会社
発 注 方 式	一般競争入札
【最終】契約金額（税込）	26,400,000円
【当初】契約金額（税込）	26,400,000円
落 札 率	98.6%
概 要	・ 泡消火配管の仕切弁追加工事(30箇所) ・ 泡消火薬剤の入替工事(500l) ・ 第1種特定化学物質（泡消火薬剤PFOS含有）の発生材処理

【指導事項】

特に指導する事項は、認められなかった。

【意見・成果見込み等】

今回の工事は、消防法に基づき、令和4年度に実施された中部消防署による立入検査で指摘された事項の是正を目的とした改修工事となっている。

PFOS含有消火薬剤の規制に対応し、薬剤の交換と2次側仕切弁の設置が行われたことで、法令を順守するとともに、利用者の安全も確保されている。本設備は火災初期段階での確実な作動が要求されるため、定期的に放出試験等の実施体制の確立と設備の適切な維持管理、安全対策の徹底が重要となる。引き続き、定期的な(特に、バブル(ノズル)部の閉塞・腐食・経年劣化への)点検と異常があった場合の迅速な対応に努められたい。

● PFOSとは

「化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律」が改正され規制対象となった化学物質は、「ペルフルオロ（オクタン-1-スルホン酸）（略称 PFOS、ピ-フオス）又はその塩」であり、一部の泡消火薬剤や消火器用消火薬剤のほか、産業界でも広く使用されている有機フッ素化合物である。化審法の改正により、PFOSが第1種特定化学物質に指定され、PFOSを含む一部の泡消火薬剤等の製造、使用等が規制されている。



3 産業観光課

(1) 内住地区農地災害復旧工事

【工事の経緯】

令和5年の梅雨前線豪雨による法面崩落のため、復旧工事を実施したもの。

工 事 名	内住地区農地災害復旧工事
請 負 業 者	株式会社 洪本建設
発 注 方 式	5者指名競争入札
【最終】契約金額(税込)	3,608,000円
【当初】契約金額(税込)	3,421,000円
落 札 率	98.4%
概 要	畦畔工 擁壁工 復旧延長7m

【指導事項】

特に指導する事項は、認められなかった。

【意見・成果見込み等】

設計図面にに基づき、適切に施工されていることを確認した。

なお、施工箇所に隣接する法面には既設の擁壁が存在しているが、今回新設された擁壁との間に未施工の部分が生じている。この未施工部分については、今後の豪雨時等により新たに崩落が発生する可能性が懸念される。しかしながら、本工事は災害復旧事業の一環として実施されたものであり、対象は災害による被災箇所に限定されていることから、未施工部分は今回の施工範囲外となっている。



4 都市整備課

(1) 乙犬地区1号線1号橋保全工事

【工事の経緯】

本橋は、橋梁長寿命化計画に基づき、危険度判定の高い橋梁として位置付けられており、道路メンテナンス事業により保全工事を実施している。

工 事 名	乙犬地区1号線1号橋保全工事
請 負 業 者	株式会社 城戸組
発 注 方 式	5者指名競争入札
【最終】契約金額(税込)	10,276,200円
【当初】契約金額(税込)	8,778,000円
落 札 率	97.9%
概 要	ひび割れ注入工 L=2.1m 断面修復工 A=7.499 m ² 表面保護工 A=44.76 m ² 水切り設置工 L=15.99m 橋面防水工 A=29.67 m ² 舗装工 A=40.16 m ²

【指導事項】

特に指導する事項は、認められなかった。

【意見・成果見込み等】

この道路橋については、歩行者や車両の通行における安全の確保、そして施設の長期的かつ安定した運用を実現するため、計画に基づいて、事業を適切かつ継続的に推進されたい。

工事費の増額要因は、1960年以前に施工された橋梁のため、工事中に事前の調査では把握できない損傷が確認され、安全性確保のために必要と判断された増工である。

また、老朽化が進む橋梁については、適切な維持管理のため、定期的かつ詳細な点検を継続され、損傷が進行する前に対処する「予防安全」の考え方を重視し、早期対応が可能な体制を構築されたい。



(2) くすのき公園原状復旧工事

【工事の経緯】

くすのき公園を子どもの居場所づくりに関する事業用地として、本公園の町有地部分を活用することに伴い、公園内の借用地部分の原状復旧工事を行ったものである。

工 事 名	くすのき公園原状復旧工事
請 負 業 者	株式会社 廣田建設
発 注 方 式	5 者指名競争入札
【最終】契約金額（税込）	4, 5 1 7, 7 0 0 円
【当初】契約金額（税込）	4, 4 5 5, 0 0 0 円
落 札 率	9 8. 3 %
概 要	原状復旧工事 一式

【指導事項】

特に指導する事項は、認められなかった。

【意見・成果見込み等】

特に意見等はなし。



5 上下水道課

(1) 和田四丁目地内配水管更新工事(2工区)

【工事の経緯】

本工事は、和田四丁目地内の団地において昭和55年当時に布設された（経過年数44年／耐用年数40年）水道管を、水道管路の更新工事5か年計画を策定し、その計画に従って更新工事を行っている2年目である。この団地には、集中プロパンガス、下水道管、既存の水道管等埋設物があり、関係機関との密な連絡調整が必要な難易度の高い工事である。

工 事 名	和田四丁目地内配水管更新工事(2工区)
請 負 業 者	株式会社 尾畑建設 糟屋支店
発 注 方 式	5者指名競争入札
【最終】契約金額(税込)	49,726,600円
【当初】契約金額(税込)	45,100,000円
落 札 率	97.4%
概 要	GX形ダクタイル鋳鉄管 $\phi 100$ L=189.6m GX形ダクタイル鋳鉄管 $\phi 75$ L=114.2m 配水用ポリエチレン管 $\phi 50$ L=173.6m 本舗装 A=1550 m ²

【指導事項】

特に指導する事項は、認められなかった。

【意見・成果見込み等】

更新工事により、耐震性・耐久性の高い水道管を用いていることから、災害に強い強靱性がある管路に更新された。町内には約110kmの水道管が敷設されており、うち20%が既に耐用年数40年を経過している。今後の課題として、他地域でも同様の計画、適切な予算配分に努められたい。

水道水については、水道法に基づき町内6か所の管末の蛇口で一日一回以上「残留塩素測定DPD法」による、塩素の濃度（残留塩素濃度）を測定し、基準値0.1mg/L以上を保持するようになっている。現地調査時においても基準値を満たしており、安全な水道水供給に努めていることが確認できた。

「篠栗町新水道ビジョン」に基づき、安全・強靱・持続に適合した水道事業をおこなっており、高く評価できる。



6 学校教育課

(1) 篠栗北中学校教室分割改修工事

【工事の経緯】

特別支援学級の増加に伴い、教室が不足しているため、特別支援教室を整備したものである。多目的ホールの一部を間仕切壁設置、床の整備、黒板、照明器具等の設置を行い特別支援教室に改修したものである。

工 事 名	篠栗北中学校教室分割改修工事
請 負 業 者	有限会社 立開工務店
発 注 方 式	5 者指名競争入札
【最終】契約金額（税込） 【当初】契約金額（税込）	7, 3 1 5, 0 0 0 円 7, 3 1 5, 0 0 0 円
落 札 率	9 6. 1 %
概 要	建築工事

【指導事項】

特に指導する事項は、認められなかった。

【意見・成果見込み等】

近年、特別支援学級が小中学校ともに増加傾向である。特別支援学級では、個別のニーズに合った環境整備（防音装置・教材・備品の充実）が求められている。また、教職員の支援体制の強化も重要な課題と考えられる。今後の動向を注視し、予算措置や運用方法を検討し、教室の不足に対応されたい。



(2)篠栗北中学校パルス空調機更新工事

【工事の経緯】

給食室パルズスクエアの空調は、２００２年に設置され２２年が経過している。このうち、８台中６台の室内機が故障したため、８台の室内機と２台の室外機の更新を行ったものである。

工 事 名	篠栗北中学校パルス空調機更新工事
請 負 業 者	株式会社 西日本空調システム
発 注 方 式	５者指名競争入札
【最終】契約金額（税込） 【当初】契約金額（税込）	７，９２０，０００円 ７，９２０，０００円
落 札 率	９６．０％
概 要	冷暖房設備工事

【指導事項】

特に指導する事項は、認められなかった。

【意見・成果見込み等】

給食室パルズスクエアは、２００２年に建設されてから２２年が経過しており、全体的な老朽化が懸念される。今後、建物や設備に不具合が生じる可能性があるため、定期的な点検を実施し、安全で快適な環境の維持に努められたい。

また、今後の設備更新や修繕に備え、計画的に予算を確保することが重要と考えられる。



7 こども育成課

(1) (仮称)たけのこ児童クラブ室新築工事

【工事の経緯】

勢門校区の放課後児童クラブでは待機児童が発生しているため、定員を増やして待機児童を解消することを目的に、新たな学童施設を新築したものである。

工 事 名	(仮称) たけのこ児童クラブ室新築工事
請 負 業 者	株式会社 飯田工務店
発 注 方 式	7 者指名競争入札
【最終】契約金額(税込)	1 9 5 , 9 3 9 , 8 1 0 円
【当初】契約金額(税込)	1 9 5 , 9 3 9 , 8 1 0 円
落 札 率	9 0 . 0 %
概 要	A. 建築工事 鉄骨構造平屋 延床面積: 287 m ² B. 電気設備工事 電灯・動力設備 C. 機械設備工事 給排水衛生・空調設備 D. 太陽光発電設備工事 45kw 発電太陽光パネル工

【指導事項】

議会での説明に際し、用途地域や防火地域・準防火地域などに関する的確な情報の提供がなかった。これらの情報が不十分であると、建物の構造や工事費に大きな影響を及ぼす可能性があり、結果として議会での審議にも支障を来す恐れがあります。今後は、正確な情報に基づいた丁寧で分かりやすい説明に努められたい。

【意見・成果見込み等】

待機児童が解消され、利用を希望するすべての子どもが通所できるようになったことは、大きな成果である。その結果、保護者が働きやすくなり、仕事への意欲が高まり、勤務時間の延長も可能となる。これにより、社会全体の人手不足の解消の一助につながると考える。

建設費が高額となった背景には、カーボンニュートラルの推進を目的とした太陽光発電設備の導入や、震災に備えた耐震性能の強化に重点をおいた設計・施工が挙げられる。太陽光発電設備は初期投資として意義のあるものであるが、今後は定期的な点検・修繕・更新が必要となる。長期的な安定運用のためにも、こまめな点検を行い、適切な維持管理に努められたい。

また、太陽光パネルに加え、耐震性の高い建物構造や、広々とした空間設計などにより、次世代の児童クラブにふさわしい、機能性に優れた施設となっている。



8 社会教育課

(1)総合センター空冷ヒートポンプチラー及び付帯設備更新工事

【工事の経緯】

空冷ヒートポンプチラー及び付帯設備は、設置から 30 年が経過し、部品の製造終了や冷媒ガスの生産中止により、修理が困難な状態であった。避難所としての利用も兼ねていることから、安定した施設の運用を継続するため、更新工事を実施したものである。

工 事 名	総合センター空冷ヒートポンプチラー 及び付帯設備更新工事
請 負 業 者	日本ファシリオ 株式会社 福岡支店
発 注 方 式	5 者指名競争入札
【最終】契約金額（税込）	9 9, 2 9 7, 0 0 0 円
【当初】契約金額（税込）	9 9, 2 9 7, 0 0 0 円
落 札 率	9 0. 0 %
概 要	機械設備 ・空冷ヒートポンプチラー 4 台整備 （既存 2 台を更新） ・熱源循環ポンプ 2 台 ・エアーハンドリングユニット 3 台 他整備

【指導事項】

特に指導する事項は、認められなかった。

【意見・成果見込み等】

今回の設備更新により、冷却水を循環させる方式を採用し、空調の効率的な運転が可能となった。従来はモーター 2 台により運転していたが、更新後はモーター 4 台を効率的に制御・運転できる設計となっている。この結果、外気温が 3 5℃～4 0℃に達する場合は 4 台をフル稼働させる一方、それ以外の気温では部分稼働とすることで、従来比で約 3 0 %の電力使用量の削減が期待される。これにより、年間約 1 2 0 万円の電気料金削減が見込まれるとともに、二酸化炭素排出量の削減にもつながる。あわせて、老朽化した設備を更新したことにより、施設の安定的な運用にも寄与すると考えられる。

なお、非常用バッテリーについては、現状では 1 時間の運転が可能であるが、災害時等の非常時を想定すると、最低でも 4 時間の稼働が可能なバッテリーの確保が望まれる。今後は、実際の運用実績に基づき効果を検証し、さらなる省エネルギーの推進につなげられたい。



(2)総合運動公園多目的グラウンド照明取替工事

【工事の経緯】

水銀灯の製造中止・環境への配慮・ランプ交換時のコスト削減により、グラウンド照明についてメタルハライドランプからLEDランプへの取替を実施した。

工 事 名	総合運動公園多目的グラウンド照明取替工事
請 負 業 者	株式会社 木村電気工事店 古賀営業所
発 注 方 式	5者指名競争入札
【最終】契約金額(税込) 【当初】契約金額(税込)	44,707,300円 43,891,650円
落 札 率	90.0%
概 要	LED投光器照明設置 48基、 LED防犯照明設置 6基 配線配管更新 一式 灯具配線配管撤去 一式

【指導事項】

増工の既設殺虫灯の撤去と防犯照明6基の設置については、事前に十分な調査を行ってれば、高所作業車の使用日数の変更など、契約の変更は、必要なかったと考えられる。今後は、設計段階において十分な検討を行い、施工段階での変更工事が発生しないよう、関係者間で仕様の事前調整及び詳細な確認を徹底されたい。

【意見・成果見込み等】

消費電力の削減に加え、照度の安定化、機器の耐久性向上、維持管理の省力化が期待される。

LED化照明の採用により、虫の飛来抑制が図られるとともに、周辺住民及び田畑へのひかりの影響にも配慮し、適切な照度での設置を行っている。環境への配慮及び施設利用者の利便性向上の観点から、一定の効果が期待できる内容であり、評価できる。

